

第 7 8 回 郡 山 警 察 署 協 議 会		
開 催 日 時	令和 8 年 7 月 3 日 (金) 午後 1 時 30 分から午後 2 時 58 分 (1 時間 28 分)	
開 催 場 所	郡山警察署 研修場	
	委 員 (定数 9 名)	八尾会長 山野副会長 上原委員 三嶋委員 楠見委員 三木委員 柳委員 以上 7 名
	警 察 署	署長 副署長 警務課長 会計課長 生活安全課長 地域課長 刑事課長 交通課係長 警備課長 広報相談係長 以上 10 名
議 事 概 要	1 会長挨拶 昨日、母親の携帯に私の名前をかたる不審電話があった。母は機転を利かせて「息子やったら横にいて、代わろか」と返答すると、相手は一方的に電話を切った。このような不審電話は後を絶たない。 本日の協議会の諮問にもあるように、そういった犯罪情報を効果的に発信することができれば被害の抑止につながると考える。 2 署長挨拶 今年は大河ドラマの影響で大和郡山市は全国的に脚光を浴び、観光客が増えて いる。 そのような中、警察ができることは市の治安を守ることに尽きる。治安のよい町の住民は日常の自然な笑顔に現れる。その笑顔は観光客のリピートを呼び込む重要なアイテムとなる。 郡山警察署員は以前にも増して一丸となり、市の治安維持に取り組んでまいり所存であり、そのためにも本日は忌憚のない意見を願います。 3 議事 (1) 郡山警察署の管内情勢と取組について ア 生活安全課関係【生活安全課長】 ○ 犯罪情勢 刑法犯認知件数（手口別、月別）、特殊詐欺認知状況 ○ 少年非行情勢（検挙・補導状況） ○ 主な事件検挙 ○ 実施施策 イ 地域課関係【地域課長】 ○ 地域課員による犯罪検挙状況 ○ 活動状況（見せる・知らせる街頭活動、子供の安全確保、情報発信活動、夜間におけるミニ検問、各種教養・訓練） ○ 当面の業務方針（タイムリーな情報発信活動、子供の安全確保と住民に安全安心を与えるための街頭活動、犯罪の検挙と抑止に直結する街頭活動、各種訓練の実施） ウ 刑事課関係【刑事課長】 ○ 刑法犯検挙状況 ○ 暴力団・薬物事犯等検挙状況 ○ 主な事件検挙 ○ 今後の方針 エ 交通課関係【交通課長】 ○ 交通事故情勢（人身事故、物件事故） ○ 交通安全教育実施状況 ○ 業務推進状況（サポカー体験、自転車青切符開始に伴う広報啓発等） ○ 主な事件検挙 オ 警備課関係【警備課長】 ○ 要人警護等の推進（要人警護、署員訓練） ○ 災害対策の推進（災害に備えた諸対策、装備資機材の点検・訓練等） ○ 各種テロ対策の推進	

- 来（在）日外国人対策
- 今後の業務方針（南海トラフ地震を見据えた諸対策等）
- カ 警務課関係【警務課長】
 - 警察安全相談業務推進状況
 - 今後の業務方針（良好な職場環境の醸成、働き方改革、採用勧奨の強化等）

(2) 諮問

「真に実効性のある情報発信について」

- ア 市民が情報発信を目にする機会を増やす手段
- イ 印象的な情報発信の手段
- ウ 情報発信を通じ、警察の魅力を伝える手段や内容
- エ その他

【警務課長】

郡山警察署では、連日のように多数の詐欺電話に関する情報が寄せられており、これらの犯罪被害を防ぐため、犯罪の手口や発生状況を市民に向けて情報発信しているが、残念ながら未だに被害の発生が止まない。また、先ほど各課長から説明があったとおり、交通事故防止、採用勧奨活動等についても情報発信していく必要がある。

そこで、これらの情報発信が真に実効性のあるものとなるよう、忌憚のないご意見を伺いたい。

頂いたご意見を業務に反映させた結果は、次回の協議会で報告する。

(3) 答申

- ア 市民が情報発信を目にする機会を増やす手段
 - お薬手帳や薬袋を啓発媒体として活用する。
 - コミュニティバスやゴミ収集車でのアナウンス。
 - 地域の連絡用掲示版にビラやポスターを貼付する。
 - 商業施設（ショッピングモール等、大型薬店等）、自治体、金融機関、鉄道会社、学校、病院、企業等と連携し、目を引く場所に目を引くポスターを掲示する。
 - 自治会や社会福祉協議会等の会合で、特殊詐欺被害防止等の講演を開催する。
 - SNSを活用した情報発信の充実。
 - デジタルサイネージ（ディスプレイ等）の活用。
 - 県警公式LINEを開設する。
 - ステッカーやポップを店舗のレジ横、飲食店のテーブルなど目に付きやすい場所に貼付する。
 - 大和郡山市の広報誌「広報つながり」に警察用スペースを設け、各月の取扱い情報を発信する。
 - 広報紙等の紙面について、強調したい部分の字体や大きさを工夫する。
 - 商業施設での警察体験フェアなどの情報発信のさらなる充実。
例えば、紙芝居や交通マナー教室、自転車の交通違反に関する教養、詐欺電話の体験教室、写真パネル展示など。
- イ 印象的な情報発信の手段
 - 手口の説明ではなく「犯人のセリフ」をそのまま見せる、聞かせる。
 - 犯罪手口の説明にとどまらず、実際の被害事例や被害者の声、被害額等を具体的に示し、市民の当事者意識を高める。
 - 犯人のセリフを文字にして生活空間の身近な場所（冷蔵庫など）に貼付し、記憶の中に浸透させる。
 - 県警アプリ「ナポリス」は、タイムリーで興味深い。さらなる充実と活用を期待する。
 - 長い説明は避け、4コマ漫画のようにわかりやすい表現で伝える。
 - 当事者意識を持てる言葉を採用する。
例えば「大和郡山市民の実際の被害手口」、「あなたの親戚は大丈夫？」など
 - 1枚のチラシ、ポスターに情報を詰め込まず、「還付金詐欺の手口のみ」、「交通事故のみ」等とテーマを一つに絞り、印象を強くする。
 - 交番発行の広報紙やビラ等の内容について、県内の広い範囲の記事よりも、市内に限定したスポット的な事件事故を発信した方がより身近であり、

- 関心が高い。
- ウ 情報発信を通じ、警察の魅力を伝える手段や内容
- 知名度の高いSNS媒体を活用する。
 - 人間味のある情報発信
 - ・ 日々の業務だけでなく警察官の内面的な“思い、気持ち”を発信する。警察について、“格好いい”と感じている子供、大人も多く、実際に話を聞く機会があれば効果的に魅力が伝わる。
 - ・ 「激務」、「休みがない」というような先入観を払拭する情報を発信する。
 - ・ 男性警察官の育児休業のインタビュー、非番や公休の過ごし方を紹介する。
 - ・ 若手警察官のリアルな1日を密着配信する。仕事のやりがいのほか、昼食のこと、休日のことなど等身大の姿を見せて親近感が湧くよう工夫する。
 - ・ 地域住民との交流、防犯活動、若手警察官の活躍など日々の仕事風景を積極的に発信することで、警察を身近で信頼できる存在として感じてもらう。
 - 警察官と大学生が気兼ねなく語り合える場を作る。
 - 警察署の見学会を実施する。
 - 普段は見えにくい警察官の人柄や現場の裏側を写真や動画で紹介する。
 - 市民の生活に役立つ警察の専門知識を発信する。
例えば「プロが教える絶対に破られない施錠設備」、「プロ直伝の夜間安全運転のコツ」など。
 - 「城下まち郡山の金ちゃん」（郡山警察署独自キャラクター）の認知度を高め、警察からの情報発信であることが一目で分かるようにする。
- エ その他
- 国際電話の利用休止申請など詐欺電話を遮断する方法、手続きをわかりやすく説明した啓発チラシを配布する。
 - 情報発信は、閲覧・視聴した人が自分事として認識できる内容とする。
 - ナポリスで「市民から期待されていること」についてアンケート調査し、意見の多かったものを事業化し「市民の声から生まれた事業」として発信する。
 - 行政で行っているように、地元の学校の美術部等と連携し、ポスターデザインを依頼する。
 - 各種地元団体と連携し、啓発活動を実施する。可能であれば署員が団体に所属する。
 - SNSを活用し、一日警察署長等に情報発信を依頼する。
 - 地域の夏祭り等でブースを設け、ナポリスの二次元コード入りのうちわ、ティッシュを配布する。
 - ATMでの高額な引き出しを制限する。
 - 学校やPTAと連携し、自転車のルール改正に伴う交通安全教室を開催してほしい。
 - 県警が熱心に発信しているSNSは、今後も興味を持って視聴したい。
 - 協議会を通じ、警察官が常に緊張感を持っておられる様子が伝わる。

4 警察署協議会の議事録

郡山警察署協議会会則第6条に「プライバシーにわたるもののほか、協議会の議決より公表しないと決定した部分を除き公表するもの」と規定されているところ、プライバシーにわたる箇所など非公表とすべき箇所は認められない。よって、議事録を作成し公表することに決定。

5 次回の協議会日程

次回の協議会は令和8年10月末頃を予定。